

神田孝平

かんだ たけひら

洋學者。文政十二年九月十五日美濃國生れ、明治二

十一年七月五日歿（八三〇一六）。譯並格（格心修す）。號唐華陽、唐

通、唐通居士、有不爲樓、樂山、淡崖、潑崖迂夫、珊瑚庵。文久二年

蕃書調所教授。維新後新政府に出任、兵庫縣令、地方官會議幹事長、

元老院議員、貴族院議員等歴任。この間かた明六社に參加、東京學士會會

員。男爵。英語學者神田乃武の養父。

譯著書、畢泚林著『性法略』（神田並格名、譯、明治四年一月求政堂

藏板）、トウシツト『星學圖說』全二冊（同、譯、明治四年冬朋影・求

政堂藏板、中外堂）、『世事要言』（明治六年十一月兵庫・鳩洋堂）、

『賴山陽實傳帖』（編、明治十二年二月刊、丸屋善七發兌）、『點評

經世餘論』（土居光華批評、明治十二年十月二十八日版權免許・正榮

堂）、『明治六大家文鈔』全三冊（合著・岡文二編、明治十二年四月

二十五日山中市共衛刊）、『楊才兒奇獄』（内題「楊才兒奇談」譯、

成島柳北編、明治十九年十一月月中川鐵次郎續刻出版、廣文堂）、『和美政錄

揚才兒奇獄』（内題「楊才兒奇談」譯、成島柳北編、明治十九年十一月

月中川鐵次郎續刻出版、木村巳之吉發兌・廣文堂）、『淡崖遺稿』（明治

四十二年七月十三日神田乃武編刊）等。